

# ICT ニュース 2022/7 月号

2022/7/13 発行 ICT/感染管理委員会

全国的に増加傾向にある新型コロナウイルスの新規感染者。厚労省専門家会議では、これまで主流だった「BA.2」から「BA.5」と呼ばれるオミクロンの変異株に置き換わったことが原因であると認識を示しました。「BA.5」は、感染力と免疫をすり抜ける力が強いため潜伏期間も短くなっているともいわれています。人類はこれからもどんどん変異していくコロナウイルスと共存していく方向にあるようです。

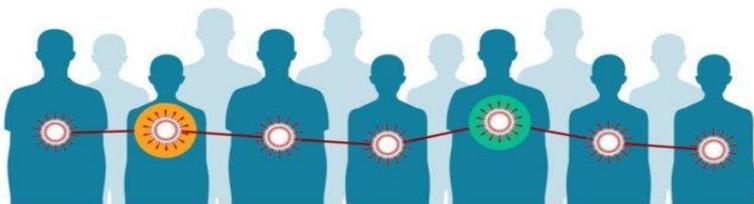


## ● 変異株はなぜ出現するのか

### 新型コロナウイルスの変異株 その仕組みは

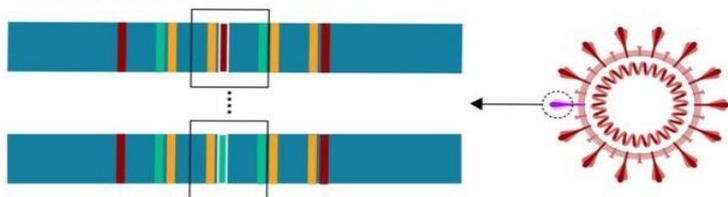
#### ① 感染者が多くなると変異のリスクが高まる

ウイルスが広がれば広がるほど、変異の機会が増える  
新型コロナウイルスではこれまで数千の細かい変異が確認されているが、その大半は影響がほとんどない



#### ② 変異から新しい変異株が生まれることもある

ウイルスを生存しやすくする変異がたまたま現れることがある  
研究者は中でも人間の細胞に侵入する手段になる「スパイクたんぱく質」の変化に注目している



出典：米疾病対策センター、BBCリサーチ

BBC

ウイルスは自分自身を複製することで増殖しますが、毎回必ず完璧に複製されるとは限りません。複製過程の誤差が遺伝子の組み換えにつながり、新しい変異が生まれます。

この変異によってウイルスが生存しやすくなる場合、変異した型は増えることとなります。

宿主となる私たち人間の中で、新型コロナウイルスが複製する機会が増えれば増えるほど、変異が発生する機会も増えるわけです。

## ● 感染症「抗体保有」検査書の発行

衛生委員会より配布された「抗体保有検査書」は、名札に入れて保管してください。有事の際に必要となりますし、自分のことは自分で守るという意識をもちましょう。

## ● 「マダニ」発生の注意喚起

県内でマダニ等が媒介する感染症「重症熱性血小板減少症候群（以下「SFTS）」という感染症の発生が増加しています。

春から秋にかけてマダニの活動が盛んになる時期、レジャーや農作業などで野山や草むら、畑などに入るとマダニに咬まれることがあります。

<注意喚起>

(1) マダニに咬まれないようにしましょう！

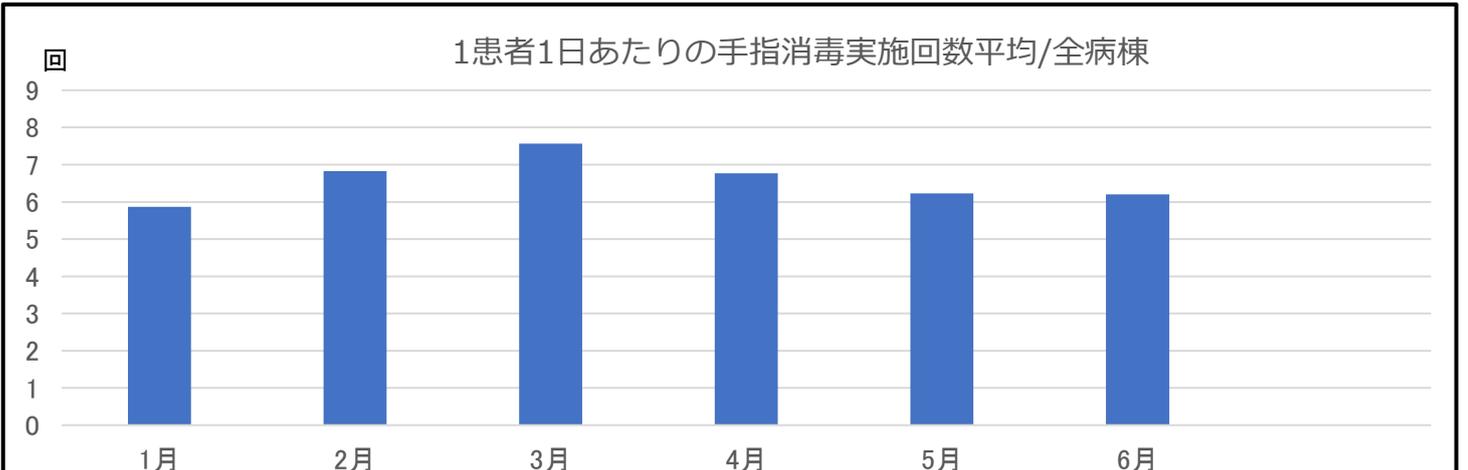
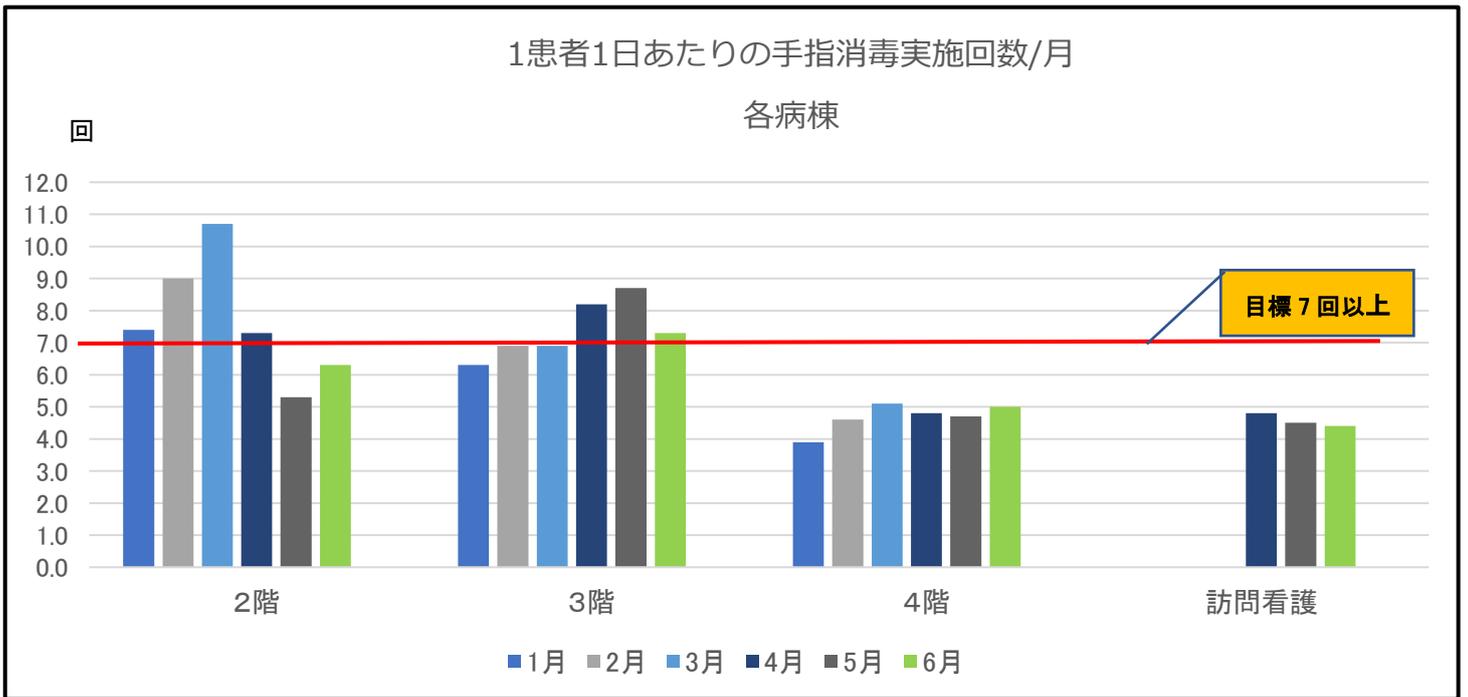
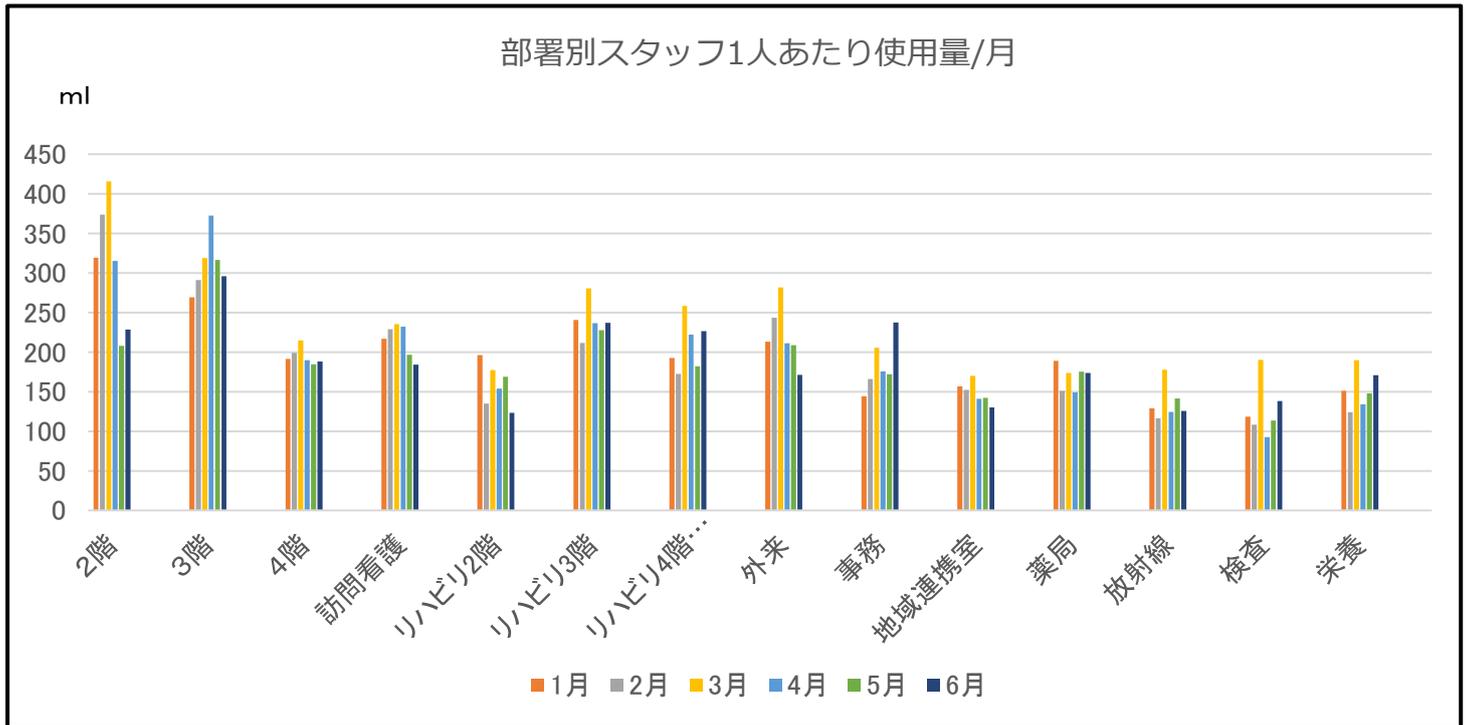
野山や草むら、畑に入る際は、耳を覆う帽子、首に巻くタオル、長袖、長ズボン、足を完全に覆う靴を着用し、肌の露出を少なくしてください。

(2) 屋外活動後は、マダニに咬まれていないか確認しましょう！マダニに咬まれて6日から2週間程度の潜伏期間を経て、主に原因不明の発熱、消化器症状（食欲低下、嘔気、嘔吐、下痢、腹痛）が出現します。時に頭痛、筋肉痛、神経症状などが出現します。早めに医療機関を受診し、マダニに咬まれた可能性があることを医師に伝えましょう。

(3) ペットに付着して、マダニが家の中に入ってくることもあります！飼育している犬や猫にもダニ駆除剤を使用しましょう。できる限り猫は室内飼いにして外に出さないようにしましょう。



# ★2022年 アルコール手指消毒剤使用量報告



\* 使用量、実施回数ともに伸び悩んでいます。今後も手指衛生をタイミングよく実施しましょう！